

歴史講演会

秀次事件の謎に迫る！

豊臣秀次公一族の冤罪を願う菩提寺のご住職が
手垢にまみれた戦国史のリフレッシュを願いつつ、
新しい視点を求めて秀次事件の謎に迫ります。

文禄二年、なぜ秀次軍団は京洛を行進したのか？

瑞泉寺(慈舟山)

慈舟山と号し、浄土宗西山禅林寺派に属する。
文禄四年(一五九五年)七月、豊臣秀次公は謀
反の疑いのもとに高野山に追放されて切腹させ
られてしまう。

次いで同年八月、秀次の子どもと妻妾の一族
三十九人が三条大橋西南の河原で無惨に処刑さ
れ、そこに大きな塚が築かれた。世にいう「殺
生塚」である。

十六年後の慶長十六年、豪商、角倉了以翁に
よって、秀次公とその一族を弔うために建立さ
れたお寺である。

平成20年

9月13日(土) 午後2時より

(受付午後1時30分)

講師 中川龍晃(慈舟山 瑞泉寺 住職)

会場 かわらミュージアム 研修室

主催 特定非営利活動法人 秀次倶楽部

住所 滋賀県近江八幡市出町131天八シガ1階

TEL 0748-3312914(受付ハウス内) FAX 0748-3213514

後援 近江八幡市(社)近江八幡観光物産協会(財)ハートランド推進財団

町並みと灯り
八幡堀
まつり

入場無料
定員50名
整理券は白雲館にて